

コンテンツ スイッチング モジュールの DNS プローブの設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、コンテンツ スイッチング モジュール (CSM) の DNS プローブの設定例を紹介します。DNS プローブは、DNS サーバへの特定のドメイン名のクエリに使用されます。DNS プローブは、応答を事前に設定された値とチェックして、CSM がサーバを使用し続けるべきかどうかを判断します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は CSM バージョン 3.x または それ 以上に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

注: このドキュメントで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) を使用してください。

設定

コンテンツ スイッチング モジュール ページ

```
module ContentSwitchingModule 4
!
  vlan 499 client
    ip address 192.168.10.97 255.255.254.0
    gateway 192.168.10.1
!
  probe DNSTEST dns
    name www.yahoo.com
!--- The probe is configured for the CSM to request the
IP address !--- associated with the domain name
www.yahoo.com. address 216.109.117.107 !--- The expected
response is configured as 216.109.117.107. !--- Multiple
addresses can be entered. If the response matches any !-
-- one of the configured address, the server is
considered alive. port 53 !--- Configuration of the DNS
port is recommended, even if the default port !--- of 53
is being used. ! probe DNSTEST2 dns name www.yahoo.com
address 216.109.117.107 !--- To demonstrate the
importance of the port command, the same probe !--- as
above is used without the port. ! serverfarm DNS1 nat
server no nat client real 144.254.10.123 inservice probe
DNSTEST ! serverfarm DNS2 nat server no nat client real
144.254.10.123 inservice probe DNSTEST2 !--- This probe
has a problem because the CSM cannot determine which
port to use. ! serverfarm DNS3 nat server no nat client
real 144.254.10.123 53 inservice probe DNSTEST2 !---
This is the same serverfarm as above, but now the CSM
can determine which port !--- to use, as specified in
the real server definition. ! vserver DNS1 virtual
192.168.1.1 tcp 53 serverfarm DNS1 persistent rebalance
inservice ! vserver DNS2 virtual 192.168.1.2 any
serverfarm DNS2 persistent rebalance inservice ! vserver
DNS3 virtual 192.168.1.3 any serverfarm DNS3 persistent
rebalance inservice !
```

確認

このセクションでは、設定が正常に動作しているかどうかを確認する際に役立つ情報を提供しています。

- `show module csm` スロット プロープ名前 NAME 詳細
- 実質 `show module csm` スロットこれはプロープが適切に機能していることを示します。

```
cpu0#sho mod csm 4 probe name dnstest det probe type port interval retries failed open
receive ----- DNSTEST dns 53
120 3 300 10 DNS Info: www.yahoo.com DNS Expected IP address: 216.109.117.107 real vserver
serverfarm policy status -----
```

```
----- 144.254.10.123:53 DNS1 DNS1 (default) TESTING
```

設定に記載のとおり、53 のデフォルトポートが使用されても DNS ポートが設定されることが推奨されます。これは CSM が DNS プロブのためにデフォルト宛先ポートを使用しないというファクトが原因です。CSM がポートを判別できない場合プロブは有効になりません。

このコマンド出力は CSM がプロブのための宛先ポートを判別しないとき表示するものの例です。パケットは送信されていません。この状態では、CSM はサービスをマークダウンしませんが、代わりに操作上にとどまります;問題は探知されていなく行くかもしれません。

```
cpu0#sho mod csm 4 probe name dnstest2 det probe type port interval retries failed open receive
----- DNSTEST2 dns 120 3 300 10
DNS Info: www.yahoo.com DNS Expected IP address: 216.109.117.107 real vserver serverfarm policy
status -----
144.254.10.123:53 DNS3 DNS3 (default) FAILED 144.254.10.123:0 DNS2 DNS2 (default) ???
```

またサーバファーム DNS2 によって関連付けられた場合、プロブ DNSTEST2 ステータスがあることに、注意して下さい。これは CSM がプロブを送信するために使用するために宛先ポートを判別しなかったという理由によります。サーバファーム DNS3 では、実サーバポートは規定されます;プロブを実行する問題がありませんでした。

```
cpu0#sho mod csm 4 real real server farm weight state conns/hits -----
----- 144.254.10.123 DNS1 8 PROBE_FAILED 0 144.254.10.123
DNS2 8 OPERATIONAL 0 144.254.10.123:53 DNS3 8 PROBE_FAILED 0
```

プロブが動作しない (のステータスによって示されて) 時、実サーバは操作上に残ります。

[トラブルシューティング](#)

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

[関連情報](#)

- [コンテンツ スイッチング モジュールの設定](#)
- [コンテンツ スイッチング モジュール ハードウェアに関するサポート](#)
- [Cisco Cat 6000 他のインテリジェントモジュール SW ダウンロード](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)